

平成29年度 保健体育科 授業改善推進プラン

①現状・観点別分析

- ・今年度より、生徒の運動習慣の確立と基礎的な体力向上、集団行動を身に付けるために、年間を通じてラジオ体操、補強運動（腕立て・腹筋・背筋・馬跳び）、ランニングに取り組んでいる。
- ・授業評価アンケートの結果では、「めあて」「関心・意欲」「知識・技能」の観点については、全学年で80%以上生徒が満足している。一方、「表現の場」「振り返り」の観点では、満足している生徒は50%～70%であり、改善が必要である。
- ・新体力テストの体力合計点において、男女ともに都平均を上回った。しかし、男子では長座体前屈が約2.0cm、都の平均よりも下回った。男女共通では50m走で0.2秒、都の平均より下回った。

《体力合計点》	男子			女子		
	全国平均	都平均	一中平均	全国平均	都平均	一中平均
1年	35.5	32.9	33.8	45.4	43.5	43.6
2年	44.7	41.0	42.0	51.4	48.5	49.4
3年	51.6	47.7	51.7	54.0	50.7	52.5

②課題

- ①「表現の場」「振り返り」に課題がある。
- ②運動が得意な生徒と苦手な生徒の二極化の傾向が強い。
- ③日常生活の中で、運動の量や時間、頻度が少ない生徒が多い。
- ④最後までやり遂げようとする力、ポイントや注意事項を聞くことができる力、主体的に授業に参加する姿勢、仲間に関心をもち声掛けできる力、等を身に付けさせる。

③具体的な改善策

- ①・学習レポート等で知識の定着を確認した後、自己や仲間の考えを書かせて学習を振り返り、それを発表する場を確保する。
- ②・技能試験の内容を工夫し、多角的に評価する。
 - ・技能の評価規準を生徒に事前に示し、見通しをもって練習できるようにする。
 - ・学習内容をスモールステップにて展開し、達成感を得られるようにする。
- ③・今後も授業時の補強運動を継続し、運動習慣の定着と体力の向上を目指す。
- ④・学習内容に基づく、関連した単元や前時の学習内容のフィードバックを行い、知識や理解の定着を図る。
 - ・学習ノート、ペアやグループでの話し合いによる振り返りを行い、自他を認める態度を養い、授業に対する主体的な姿勢を育む。